

2カ月ぶり 球場に快音



早朝野球で好ゲームを繰り広げる選手ら＝姫路市花田町加納原田

姫路早朝野球 試合を再開

新型コロナウイルスの影響で、4月上旬から中断を余儀なくされていた姫路早朝野球（神戸新聞社後援）

の試合が、ようやく再開された。グラウンドに戻った選手らは、プレーできる喜びをかみしめながら白球を追っている。

姫路早朝野球連盟の主催で、平日の朝6時から姫路市立球技スポーツセンター（同市花田町加納原田）などで試合を行っている。市

内在勤なら誰でもメンバーに加わることができ、現在は19チームに約350人が在籍している。

17日は「翼クラブ」と「AROSE（アローズ）」が対戦した。試合開始と終了時の握手を取りやめたり、得点時のハイタッチを禁止したりと感染予防を徹底しつつ、白熱したゲームを展開。結果は3―0でアローズが勝利した。

翼クラブの置塩豪選手（46）は「この2カ月間は家で素振りなどをして調整していた。改めて野球ができるありがたさを感じる」。レフトオーバーの二塁打を放ち、チームの勝利に貢献したアローズの土井克暢選手（24）は「皆でそろって試合ができるうれしい。強いチーム相手に良い流れを作ることができた」と話した。

（山本 晃）